

春の特別企画展『見て触って考えるイタイイタイ病講座・語り部リレー講話』
にご期待ください。

前号でもご案内いたしました、資料館では、今年もゴールデンウィークに春の特別企画展を開催します。

今回で4回目となる企画展では、資料館の展示の中で特に理解しづらいカドミウムの体への影響や患者の病態について、富山大学大学院医学薬学研究部病理診断学講座の協力のもと、分かりやすく解説する公開講座を開催します。

講座では、病理標本をコンピューターで拡大して見たり、臓器模型を直接触ったりしながら学びます。

また、期間中毎日（5月1日（月）は休館日）、8名の語り部が交代で講話を行う語り部リレー講話も行います。

皆様、この企画展を通して、イタイイタイ病について考えてみませんか。
事前申込みは不要で、入場は無料です。
春の特別企画展へ是非お越しください。

富山県立イタイイタイ病資料館 春の特別企画展

病理標本を 臓器模型に

見て触って考える イタイイタイ病講座

入場無料

日時 平成29年 4月29日（土・祝） 14:00～15:30

場所 イタイイタイ病資料館 2階 交流学習ルーム

講師 井村 穰二 氏（富山大学大学院医学薬学研究部病理診断学講座 教授）

内容 カドミウムの体への影響や患者の病態などについて、わかりやすく解説する講座です。参加者自身が、病理標本をコンピューターで拡大して見たり、臓器模型を直接触ったりしながら学びます。
<学習イメージ>



●イタイイタイ病の病理解説パネルの展示
場所 イタイイタイ病資料館 2階 交流学習ルーム
日時 平成29年4月29日（土・祝）～5月7日（日） 9:00～17:00

【お問い合わせ】 富山県立イタイイタイ病資料館 〒939-8224 富山市友杉151番地
TEL: 076-428-0830 FAX: 076-428-0833

富山県立イタイイタイ病資料館 春の特別企画展

語り部リレー講話

語り部



日時 平成29年 4月30日（日）～5月7日（日）
午前の部 11:00～11:30 午後の部 14:00～14:30

場所 イタイイタイ病資料館 2階 交流学習ルーム 入場無料

○期間中毎日、8名の語り部が交代で、語り部講話を行います。

講話スケジュール							
4月		5月					
30日(日)	1日(月)	2日(火)	3日(水)	4日(木)	6日(金)	6日(土)	7日(日)
午前 高木さん	休館日	青木さん	杵山さん	江添さん	高木さん	青木さん	江添さん
午後 若林さん		小松さん	青島さん	大上さん	若林さん	小松さん	大上さん

【お問い合わせ】 富山県立イタイイタイ病資料館 〒939-8224 富山市友杉151番地
TEL: 076-428-0830 FAX: 076-428-0833

機関誌『資料館だより 2017年 春号』を発行しました。

このたび、資料館での出来事や活動状況、各種のお知らせ情報をお伝えする「資料館だより 2017年 春号」を発行しました。

今回の春号では、平成28年9月以降の資料館の動きを紹介しています。

主な内容として、昨年10月に開催した『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』において、四大公害病（水俣病・新潟水俣病・四日市公害・イタイイタイ病）の語り部が一堂に会し、公害の恐ろしさや、その教訓を後世にしっかりと語り継いでいくための方策などについて、会場の皆さんとともに意見交換を行った様子についてお伝えしています。

また、今年2月に開催した『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』では、イタイイタイ病対策協議会が昨年11月に結成50周年の節目を迎えられたことから、高木勲寛会長よりこれまでの活動のあゆみについてお話いただいたほか、次代を担う中学生や高校生、看護学生によるイタイイタイ病についての学習・研究成果の発表、そしてアルピニストの野口健氏による記念講演などの様子についても紹介しています。

このほか、語り部コーナーとして、資料館の開館から5年間、語り部をされている高木良信さんと青木有明さんに、これまで活動されてきてうれしかったことや、今後伝えていきたいことについてお聞きしました。

この資料館だよりは、年2回（春・秋）発行しており、公立図書館等でご覧いただけるほか、資料館のホームページからもご覧いただけます。

「資料館ホームページ」

(URL: <http://www.pref.toyama.jp/branches/1291/>)

The cover of the magazine '資料館だより' (Library News) features several articles and photos. The main title is '資料館だより' in large blue letters. Below it, there are several smaller headlines and images. On the left, there's a section titled '春の特別企画' (Special Spring Plan) with a sub-headline '『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』開催' (Held 'Forum for Thinking about Itai-itai Disease' for Citizens). In the center, there's a photo of a person speaking at a podium. On the right, there's a section titled '資料館の動き' (Library Activities) with a sub-headline '『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』開催' (Held 'Forum for Thinking about Itai-itai Disease' for Citizens). At the bottom, there's a section titled '中学生向け日本語本を提供します' (We provide Japanese books for middle school students).

The interior pages of the magazine '資料館だより' show detailed text and photos. The top section is titled '『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』開催' (Held 'Forum for Thinking about Itai-itai Disease' for Citizens). Below this, there are several columns of text, interspersed with photos of people speaking at a podium and a group of people sitting at a table. The bottom section is titled '語り部を語り継ぐー一級学習サポート事業実践報告からー' (Passing on the Storytellers - From the Practical Report of the First-level Learning Support Project -). This section includes a photo of a man speaking and a table with text. The overall layout is clean and professional, with a mix of text and images.

平成 28 年度 課外学習サポート事業の調査結果について報告します。

資料館では、子どもたちのイタイタイ病についての学びを支援するため、学校等に無料送迎バスを提供する「課外学習サポート事業」を実施しており、平成28年度は、74校(小学校64校・中学校7校・高校以上3校)、合計4,252名の子どもたちが、この事業を利用し来館していただきました。昨年度と比べると15校、974名増えております。

この事業の利用者には、見学された後にアンケートを実施し、イタイタイ病の理解度を調査した結果をとりまとめましたので報告します。

まず、学習効果の状況では、「発生した時期」・「発生した地域」・「患者の症状や特徴」・「原因(物質)」の4項目において、来館前に「知らない」と回答した子どもたちのうち、来館後には約9割が「理解できた」と回答があり、資料館での学習が子どもたちの理解に着実に結びついていることがわかりました。

また、学習後の分野別理解度において、「住民と原因企業の取り決め内容」・「患者の認定方法、患者数」・「患者の腎臓の状態」・「鉱山への立入調査の内容と歴史」の4分野では、理解度が7割台に留まったことから、資料館では、解説の工夫を行うなど理解度の向上に向け、取組みを行ってまいります。

調査にご協力いただいた皆様ありがとうございました。

今回の調査結果は資料館の掲示板やホームページでもご覧いただけます。

「資料館ホームページ」

(URL : <http://www.pref.toyama.jp/branches/1291/>)



富山県立イタイタイ病資料館
平成29年3月31日現在

課外学習で資料館を利用した子どもたちの学習状況

1 集計対象 課外学習サポート事業を活用して来館した小・中・大学生 4,252名(74校)
* 小学生/3,630名(64校)、中学生/476名(7校)
大学生(短大・専門学校を含む)/146名(3校)

2 学習効果の状況

来館前	発生した時期		発生した地域		患者の症状や特徴		原因(物質)	
	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない	知っている	知らない	知っている
74.9%	56.1%	43.9%	67.3%	32.7%	48.7%	51.3%		
来館後	25.1%	43.9%	43.9%	56.1%	51.3%	48.7%	48.7%	51.3%

3 学習後の分野別の理解度、効果 (単位/人)

展示室のテーマごとの分野	理解できましたか?		特に理解が深まった	特に印象に残った	今後もっと学習したい
	できた	できなかった			
テーマ1 ① 川水を利用していた 昔の生活	4,182	69	1,068	667	799
② 発生した時期	3,278	974	1,040	843	444
テーマ2 ③ 発生した地域	4,072	179	1,174	628	593
④ 患者の症状や特徴	4,180	72	2,078	1,102	749
⑤ 患者・家族の苦しみ、 地域の人々の苦勞	4,165	87	1,068	1,036	702
⑥ 原因(物質)	4,137	115	1,062	1,108	856
テーマ3 ⑦ 裁判を起こした理由 とその結果	3,828	424	817	960	704
⑧ 住民と原因企業の 取決めの内容	3,248	1,004	332	408	831
⑨ 患者の認定方法、 患者数	3,207	1,045	514	891	809
テーマ4 ⑩ 患者の腎臓の状態	3,175	1,077	512	799	1,072
⑪ 患者の骨の状態	4,200	52	1,799	1,068	686
テーマ5 ⑫ 鉱山への立入調査 の内容と歴史	3,620	632	424	889	1,111
⑬ 農地の土壌汚染 の内容と歴史	3,894	358	838	838	1,032
⑭ 公害の恐ろしさ、 環境と健康の大切さ	4,170	82	1,036	1,091	841